



沓掛小学校だより

1月号

未来を拓く ~元気・やさしさ・かがやく瞳~

NO. 573

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

今年もどうぞよろしく お願いいたします

校長 師岡 孝明

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

保護者・地域の皆様におかれましては平成29年の新年を家族団欒の中、清々しい気持ちでお迎えのことと存じます。また、昨年は本校の教育に御理解と御協力を賜りましたことに御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお祝い申し上げます。

今年平成29年は、「酉年」です。子年から始まる十二支も10番目の年になります。この「酉（トリ）年」は「取り込む」に繋がるとも考えられ、お客を「取り込む」ことから、酉の年は商売繁盛に繋がると言われているそうです。また一方、「酉」の字の由来に「果実が極限まで熟した状態」という意味があることから、物事が頂点まで極まった状態になるのが酉年であるとも言われています。学習や習い事などで結果が得られたり成果が出たりする年であるということです。今年一年、沓掛小の子供たちに価値があり素晴らしい結果や成果が出てくれることを期待しています。



さて、昨年12月に中央教育審議会から「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」の答申が出されました。この答申を受け今年度中に小学校の学習指導要領の改訂が行われ、平成32年から完全実施される予定です。学習内容の転換期である時期ではありますが、子供たちの学びや健全育成に関しては今まで同様、一層の力を注いで参りますのでよろしくお祝いいたします。

子供たちの健全育成、特に子供たちの人間関係については、本校においても、全児童がすべての友達と円滑な人間関係であると言い切ることは難しいと考えております。教員は、個々の児童の言動や表情から何を考えどう思っているのかを理解しながら指導に生かすよう努力しておりますが、すべての場面における児童の心の動きを把握できるわけではありません。また、すべての友達と円滑な人間関係が形成できる人間は、大人であっても存在しないのではないかと考えています。

そこで大切なのは、自分の考えていることを相手に伝わるように適切に話す力を身に付けることであり、またそれ以前に相手の気持ちを考えて声かけができる力を身に付けることだと思っています。学校では、これらの能力の育成に向け、授業をはじめとする学校生活の中で、指導を継続しているところです。その取組の一つとして校内研究で実施している「ペア学習」があります。ただ、学校生活における指導だけでは到底十分だとは言えません。

人の気持ちを学ぶということは、日常生活のあらゆる場面で状況に応じ、周りの大人からの「今、あの人は、～と感じたでしょうね。」というような言葉かけや大人同士の会話を耳にすることによって形成されるものだと言えるのではないのでしょうか。この学びが豊富であればあるほど、相手の心情が理解でき、豊かな人間関係が築けることとなります。児童は、学校・家庭や日常生活での学びが豊かであればあるほど、そのような力を蓄えていくのだと思います。ですから、学校と家庭との連携の大切さは、このようなところにも表れています。だからこそ、今後とも豊かな心の育成に向けて、連携を深めて参りたいと考えております。